

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

令和5年 12月 1日

所在地 山梨県甲斐市宇津谷873

企業名 有限会社創美社

代表者 代表取締役 河野昭造

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

環境美事業を通じて、地球と地域が抱える環境課題の解決に取り組み、お客様と地域のより豊かな環境づくりに貢献いたします。

3側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和4年12月1日	
✓環境 ✓社会 ✓経済	飲食店、旅館・ホテル、食品製造工場、食品小売業の浄化槽・グリストラップの廃棄物(汚泥など)削減。	2020年対比で浄化槽・グリストラップの廃棄物を削減する。 現状：2/5 ⇒2030年：4/5	汚泥分解システムのバージョンアップにより、汚泥の発生を従来より削減させられるようになった為、廃棄物も削減。 2023年：3/5	(進捗率) 75%
✓環境 ✓社会 ✓経済	廃棄物(汚泥)削減により、バキュームカーで汲み取り回数の削減 処分場までの車で配送回数削減によるCO2排出量の削減。	2020年対比で汲み取り回数を削減する。 現状：1/3 ⇒2030年：2/3	汚泥分解システムのバージョンアップにより、汚泥の発生を従来より削減させられるようになった為、廃棄物も削減。 2023年：3/5(システム導入先へのヒヤリングによる)	(進捗率) 90.9%
✓環境 ✓社会 ✓経済	廃棄物削減による、廃棄物処理費用の削減(取引先のコストと地域の処分場でのコスト)	2020年対比で廃棄物処理費用を削減する。 現状：-10% ⇒2030年：-20%	汚泥分解システムのバージョンアップにより、汚泥の発生を従来より削減させられるようになった為、廃棄物も削減。 2023年：-12%(システム導入先へのヒヤリングによる)	(進捗率) 60%

2030年の目指す姿

お客様と地域の浄化槽やグリストラップから発生する廃棄物(主に汚泥)の発生量 1/2(2020年対比)。バキュームカーでの汲み取り回数 1/3(2020年対比)。(すでに2020年よりこの取り組みに着手しています)

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs達成に向けた取組チェックリスト」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。